



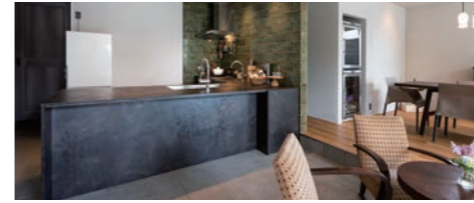
K^{n.03} rivista
kitchenhouse



01 p4 - p7



02 p8 - p11



03 p12 - p15



04 p16 - p19



05 p20 - p23

K^{n.03} rivista

kitchenhouse



Landscape with Mercurio | O邸

今日では、交通至便な市街地にまとまった広い土地を見つけるのは容易ではありません。しかし、諦めずに探し続けた奥様の努力に幸運が重なり、O邸は都市住宅としてはとてもゆったりとした間取りで新築されました。佇まいは品が良く、現代建築に伝統的日本家屋の心地よさを取り入れたしつらえが魅力です。

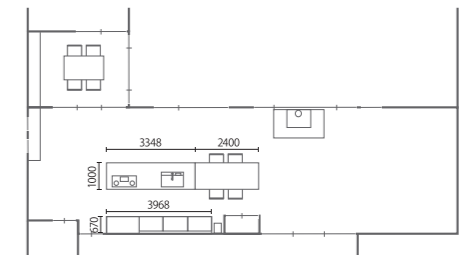
リビング・ダイニング・キッチンは一いつづきの大きなスペースで、吹き抜けのリビングは明るく開放感があります。キッチンの天井部分は木製ルーバーが取り付けられ、高さも2m40cmに抑えているため落ち着いた空間になりました。内装壁はホワイトで床材はナチュラル系のメープル。抑制の効いた色彩設計の中であって、キッチンに採用された「メルクリオ」のダークブラウンの色合いと素材感が空間を引き締めています。

キッチンは全長約3m40cm。これに2m40cmのテーブルがひと続きに並び、全体では6m近いサイズとなっています。一方向に長いキッチン・ダイニングですが、リビングからバルコニーに出る主動線に沿って配置されているため、その大きさを感じさせずに居室に馴染んでいます。また、バックセットの高さにも工夫があり、建築側の廊下の明かり取り窓と、リープヘルワインクーラー付冷蔵庫の高さにあわせた寸法で特注されました。この設計により、とても自然な見えがかりです。

大型キッチンですので、ミール製IHクッカーの左右にスパイスラックと多目的ラック。更に中央の食器洗い機を挟んでシンクとダストボックスなど必要な設備は過不足なく揃っています。むしろこのキッチンで心配されたのは、大勢のお客様をお招きした場合に機能不全にならないよう、十分な「ゆとり」を確保することでした。例えば、ご友人の多いO様はホームパーティーを頻りに開いていますが、バックセットに採用された垂直フリッパーは、親しいお客様にお手伝いいただいて食器を出し入れする際、扉が歩行の邪魔になりません。

この様にキッチンとバックセットは、建築と一体になるようロケーションを些細に分析し、各部の有効寸法と安全性にも配慮して、最適に設計されました。社交的なご家族に相応しい美しいキッチンですね。

01



133-000517

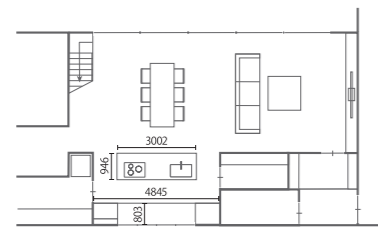


Landscape with Percurio | O邸





02



113-002036

Landscape with Mercurio | N邸

若いご夫婦とふたりのお嬢さんが暮らす郊外住宅。ブラインド付き木製サッシやバーチ無垢の床材など、天然木がふんだんに使われたご自宅は自然の芳香に包まれ、とてもリラックス出来ます。広々としたリビングは吹き抜けで、壁が白く塗られて明るく開放的。家具が好きなご主人が昔から憧れ、集められたマリオ・ベリーニのデュックや、ロドルフォ・ドルドーニのエローロなど、名作のソファが存在感を発揮しています。キッチンリビングから見て二階の居室の下に設けられていますが、奥に並ぶバックセットの扉は壁の色に似たプレミアムホワイトで、建築と一体化して広々とした印象です。キッチン本体は鉄軸をイメージした「メルクリオ」を採用。ご主人はもともと木目調のキッチンにするつもりだったそうですが、ショールームでご覧になって心が変わり、あわせてダイニングテーブルもガラス製に変更されました。キッチンの配置ですが、3mを越える大型のアイランドがリビングとの境界を仕切るよう横たわっています。キッチンの床は耐久性のある磁器タイルで、足を踏み入れるとリビングからキッチンに入ったことをその感触が伝えてきます。この静かなメッセージは小さなお子さん達も感じ取っているようで、お行儀良くリビング内に留まって遊んでいます。

アイランドキッチンの設備は、作業する側から見て右端に手板金シンクと自動水栓。その左にドイツのAEG製食器洗い機。さらにスパイスとボトルラックを挟んでIHクッカー。焼き魚は卓上フィッシュロースターの焼き上げが好みということで、グリル無しタイプが選定されています。左端は三段引出しで、使用頻度の高い調理道具の収納に割り当てられました。N邸は大容量のバックセットとパントリーも完備していますが、ご夫婦共にお料理が大好きでキッチンの使い方について明確なイメージをお持ちでしたので、大半の調理がアイランドだけで完結する作業性の良いキッチンになりました。

インテリアの内装壁はプロの職人による白とグレーの塗装仕上げですが、上部にピクチャーハンガーを埋め込んだ青い壁のギャラリーコーナーだけは、ご主人とお嬢様が新築の記念に自分達で塗ったものだそうです。ご自宅の壁を好きな色に塗れるなんて、とても素敵なことですね。



Landscape with Mercurio | N 邸





Landscape with Mercurio | I 邸

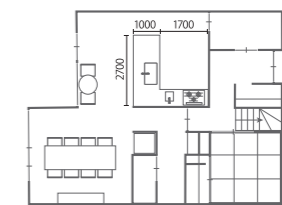
長年、北国のイタリアンレストランでオーナーシェフとしてご活躍の奥様。結婚後は遠く離れたご主人の地元と店とを往き来して切盛りしてきましたが、お子さんが小学校へ入学するこの四月を節目に、ご主人の地元で過ごす時間をこれまでより多く取ることにしました。新居のキッチンも奥様が幼い頃に見た土間の台所の雰囲気。内と外との敷居を取り払い、どなたでも気軽にお茶を飲み立ち寄りいただける。そんなフレンドリーな空間を思い描きました。そして少し生活が落ち着いたら小さなレストランあるいは料理教室としても使えるようにと、手元がよく見えるL字型のオープンキッチンをしつらえました。

キッチンの扉と天板に選んだ「メルクリオ」は鉄釉の色合いがイメージに合い即決でした。背面壁の深緑色のタイルは色を指定し窯元に特注したこだわりの品です。とても風情のあるインテリアは味わい深い料理が生み出される予感たっぷりです。北国の「隠れ家」で好評だった、香味野菜が載った季節の魚に柑橘とマスタードのソースをあしらった「カルパッチョ」や、魚をたっぷりの貝とトマトで煮込んだ「アクアパッツァ」の爽やかな風味が想像出来るようです。

このキッチンは後日、用途目的の変更に合わせて改造すれば良いとお考えで、収納は比較的簡素なつくりです。しかし、あとで変更困難な火回り・水回りは専門家の視点でシビアに選定されています。ガスクッカーは家庭用のリンナイ・デリシアグリレですが、強火力ガスバーナーとワイドごとくを採用した大型の鍋に対応出来るタイプ。下部にはパワフルなガスコンベクションオープンも装備しました。これから日々焼き上げられるであろう全粒粉パンの芳醇なクラストの香りは、この伝統スタイルのオープンから生み出されていくのです。

そしてレイアウト上の工夫はガスコンロ右のサブシンク。水を汲んだり茹でこぼす作業が最短距離で行えます。大型シンクは別途ペニンシュラ側に離れて配置され、その隣にシンプル大容量のASKO製食器洗い機を選定しました。その他、コソコソ集めた貴重なシャンパンのコレクションを大切に保管するため、ご主人のたっの希望でワインセラーも用意されました。収納部分についてはまだまだ未完成とおっしゃる奥様ですが、人生は旅のようなもの。新しい旅はまだ始まったばかりです。

03



121-003550

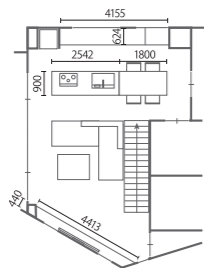


Landscape with Mercurio | I 193





04



121-003891

Landscape with Mercurio | T邸

窓の外に目をやると、風に乗って雲がゆっくり流れていく様子が見えます。ここは景色の良い都市部のメゾネットマンション。そのオーナーでご自身もその上層階にお住まいのT様は、ご主人と奥様、そして三人のお嬢様の五人家族。インテリア関係のお仕事をされている関係で、ご自宅にお客様を招くことも多いとのこと。新居を検討する際、奥様はダイニングの重要性を強く意識されていました。家族のコミュニケーションの場として、親しいお客様と語らう場として。このため会話が間延びしない様キッチンとテーブルが一体化した配置で、かつ、お客様を愉ませるデザイン上のポイントが欲しい。ところがスタイリングの肝になるはずの「野暮ったくないダイニングテーブルの脚」はなかなか見つかりません。そんなとき、キッチンハウスのホームページで別注品の「斜めにデザインされた片持ち脚」を見つけ、ようやく理想のキッチンに出会えたという思いでショールームにいらっしゃいました。以前のご自宅は白いキッチンでしたが、新居は落ち着いた雰囲気にしたくて「メルクリオ」を選ばれました。アイランドは北米産のウォルナット床材の上にアルミ幅木をあしらって浮遊感を持たせ、一体になったテーブルがとても軽快でスタイリッシュ。お客様は階下の玄関から案内されて階段を上り詰め、視線を向けたその先にこのテーブルを目にしますが、苦勞の甲斐あってとても好評です。その後「メルクリオ」の意匠性に惚れ込み、TVボード・キッチンバックセット・玄関収納も追加しました。

T様は夕食を家族揃ってとられますが、朝はお子さん達がテーブルに集まって勉強し、そのあと好きな物を各人が用意して食べる習慣です。それをストレスなく可能にしているのがコンセントを多数配置した広いバックセット。トースターなどの卓上家電を複数置いても使いやすく、キッチンで調理中の奥様の作業と交錯しないので、忙しい朝の時間を効率的に使えているそうです。勿論、休日のホームパーティーのサービスカウンターとしての使い勝手も抜群です。

このように御満足頂いているキッチンですが、「お茶の道具とグラス類を一箇所に収納出来れば、もっとスムーズにサービスできるのではないか」と、奥様はもう次のアイデアに考えを巡らせています。



Landscape with Mercurio | T 邸





Landscape with Mercurio | K邸

「ネットでキッチンメーカーを検索していて、ふとショールームの記事を見つけ格好良いと思いました。ここにはきっと希望のキッチンがあるに違いない。訪ねてみよう」それがキッチンハウスとの出会いです。

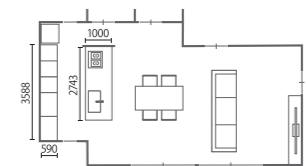
お料理は好きです。女の子と男の子を含む四人家族で普段は和食が中心。今は子供が口に来る献立が多いですが、いずれは本格的なオープン料理のレポートも増やしたいと思っています。キッチンの扉と天板は最初「ベトングレー」にするつもりでしたが、プラン中に「メルクリオ」発売のニュースを聞き、一目見て気に入ったのでこちらに変更しました。壁のタイルも「メルクリオ」の色柄にあわせた選定です。

キッチンレイアウトはペニンシュラ（半島型）に大型バックセットを組み合わせた二列型。ペニンシュラ部分はシンプルな手板金シンクに自動水栓を組み合わせた流しのほか、食器洗い機とボトル・スパイス収納を設けた機能重視の配置です。一方、バックセット右側は家電収納・ウォールオープン・ダストボックスなどの補助的な用途に。バックセット左側は容量の大きなパントリースペースにと振り分けています。

機器類について工夫したのはまず冷蔵庫の位置です。距離的に遠くなく、リビングから見て死角になるバックセット右端に配置して目障りにならないようにしました。また、ブレンダーやトースターの使用頻度が高いため、事前に打ち合わせして使いたい場所にコンセントを用意しました。IHクッカー・食器洗い機・ウォールオープンはドイツのミーレ製です。以前ガスクッカーを使用していたときは、弱火にすると火が消えて不便に感じることもありましたが、IHクッカーは弱火のコントロールがしやすいので、火力を絞る使い方が多い家庭に向いていると思います。

以前の家はリビングがキッチンと別でしたが、リビング・ダイニング・キッチンが一体だとインテリアがひとつのテーマにまとまる上に、子供達の様子もよく見えて暮らしやすく感じます。お仕着せのものではなく、自分で思い描いたキッチンを使う喜びは格別で、お友達にも是非紹介したいです。おそらく子供の成長や生活スタイルの変化によって収納物は変わっていくでしょうから、どのように分類して収納するのが使いやすいか、時を置いて見直さなくてははいけませんね。

05



133-000416



Landscape with Percurio | K 邸



Krivista

キッチンハウス

目黒オフィス

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-14-17
Tel.03-5768-3311

世田谷ショールーム

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛1-6-8
Tel.03-3705-8411

本牧テラスショールーム

〒231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原1-4 ムラーラ本牧 1F
Tel.045-629-5281

北関東ショールーム

〒375-0054 群馬県藤岡市上大塚1228
Tel.0274-24-4141

名古屋ショールーム

〒464-0026 愛知県名古屋市千種区井上町13-3
Tel.052-781-7070

大阪ショールーム

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-20
Tel.06-6536-3690

神戸ショールーム【完全予約制】

〒650-0036 兵庫県神戸市中央区播磨町45 THE45th 9F
Tel.078-599-5635

岡山ショールーム

〒700-0976 岡山県岡山市北区辰巳11-106
Tel.086-805-8258

広島ショールーム【完全予約制】

〒730-0051 広島県広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー 9F
Tel.082-236-8198

福岡ショールーム

〒812-0853 福岡県福岡市博多区東平尾2-16-8
Tel.092-627-3600

藤岡工場

〒375-0054 群馬県藤岡市上大塚1228
Tel.0274-23-6661

提携店

キッチンハウス札幌

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東2-5-3
Tel.011-200-2737

ホルツ

〒981-0913 宮城県仙台市青葉区昭和町3-15 ネオプラザ北仙台1F
Tel.022-234-1266

ハートハウス

〒921-8064 石川県金沢市八日市5-493-1
Tel.076-240-3838

米三

〒930-0044 富山県富山市中央通り1-5-10
Tel.076-424-3231

アクアリビング

〒430-0929 静岡県浜松市中区中央1-3-3
Tel.053-454-8177

KISS

〒790-0913 愛媛県松山市畑寺3-11-31
Tel.089-946-1141

アルス

〒852-8117 長崎県長崎市平野町22-19
Tel.095-814-0611

オデオン

〒890-0055 鹿児島県鹿児島市上荒田町14-24
Tel.099-257-3524

本誌はキッチンハウスから不定期にお届けする季刊誌です
製品の色は印刷物のため実際の色とは異なる場合がございます
掲載製品は製品改良のため予告なく変更する場合がございます
本誌の記載内容は2018年2月現在のものです

kitchenhouse
www.kitchenhouse.jp